

神宮の博物館

令和7年4月～令和8年3月

令和7年度 展覧会のご案内

休館日

【徴古館農業館】木曜日(祝日の場合はその翌平日) 年末3日間は休館

【美術館】木曜日(祝日の場合はその翌平日) 年末3日間は休館

【せんぐう館】毎月第2・4 火曜日(祝日の場合はその翌平日)

※展示替えによる臨時休館有り。
※その他臨時に休館することがあります。詳しくはホームページをご覧ください 神宮の博物館

検索

令和7年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和8年	1月	2月	3月
------	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	------	----	----	----

本館展示【①神宮の祭典と建築(外宮御饌殿復原展示) ②神宮の歴史など】

古代から近代にかけての神宮や式年遷宮の歴史について、徴古館を創設した神苑会にも触れながら収蔵資料や神宮文庫の文献資料を借用して紹介する。また神宮の概要がわかるような祭典に関する資料も展示する。
展示替日(予定)→5月29日(木)、9月18日(木)、令和8年2月12日(木)

神宝展示 3月28日(土)～7月9日(水)

神宝展示 7月12日(土)～10月7日(火)

特別展

神宝展示 12月20日(土)～令和8年3月25日(水)

1室 神宮の御料

神宮神田や御園・御塩浜などの御料に関連する資料を紹介。また勲農絵画も展示する。

2室 自然の産物と殖産興業

自然の産物がいかに人の暮らしに役立つかをテーマに収集された明治期の資料(産業・自然史資料や剥製)を紹介。また大正から昭和にかけて製作された蠟細工のうち、菌糸類・果樹類蠟細工模型を展示。併せて田中芳男が作製した蠟墨による採取標本(掛軸)等を展示する。

特別展

「夢-歌会始御題によせて」

4月25日(金)～5月27日(火)

皇室の「歌会始」の御題を主題とする特別展。今回は御題「夢」へのアプローチを「夜見る夢」と「明日に向けての夢・希望・期待・空想・ゆめ幻など」に分けて、近代の美術品を展観する。

美術館収蔵品展

5月30日(金)～8月26日(火)

わが国の美術工芸作品の歩みを展望できる「美の殿堂」を目指して活動している当館には、平成5年(1993)開館以来当代一流の作家の方々から奉納の遷宮奉賛の真心こもる作品が現在500点以上収蔵されている。その中から約40点を公開する。

特集展示

令和六年度奉納・神宮式年遷宮奉賛美術品展

8月29日(金)～11月26日(水)

神宮式年遷宮を奉賛して、令和六年度中に奉納された美術・工芸作品を公開する。日本画・書・彫刻など。

美術館収蔵品展

11月29日(土)～令和8年2月11日(水)

平成7年(1995)より始まった恒例の特集展示。当代を代表する芸術家の方々から神宮に献納された美術工芸作品を公開するもので、本年度は令和5年度奉納の華麗・秀逸なる作品の数々を公開する。

特別展

「やまと絵と歴史絵画-現代に生きる日本画の系譜-」

2月14日(土)～3月17日(火)

日本画は外からの影響を取り入れながら、わが国古来の技法を残し、現代まで続いている。現代まで受け継がれている日本画の系譜を紹介。近現代の日本画の名品と美術館の収蔵作品を一堂に展示する

《20年に1度行われる式年遷宮の祭と、神々に奉られる御装束神宝を調製する技と自然から得られる素材について紹介する》

展示室3 【①永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

鶴斑毛御彫馬 公開中 ～ 7月21日(月)

御鞍 7月26日(土)～

展示室4 【②永遠の匠たち-御装束神宝調製の技-】

梓御弓・矢 公開中 ～ 7月20日(月)

御鏡・轆轤篋・漆工道具 7月26日(土)～令和8年6月22日(月)

展示室7 【神宮の20年】

式年遷宮はつづく-御杣山 開催中 ～ 令和8年6月22日(月)

「御杣山」は神宮の式年遷宮の社殿造営に必要な御造営用材をいただく山のこと。御杣山変遷の歴史とその背景をパネルで紹介し、今後望まれる山の未来像について考える機会とする。

展示室8

①刀剣研磨資料公開 公開中 ～ 令和7年7月21日(月) ②神宝刀剣の源「鋸(けら)」 令和7年7月26日(土)～令和8年6月22日(月)

神宝の御太刀・御銚を調製する為に欠かすことのできない刀剣研磨の技術について紹介する。たたら製鉄により生み出される鉄の塊「鋸」を展示し、神宝の御太刀・御銚調製の材料である玉鋼と製鉄の技術を紹介する。

徴古館

農業館

美術館

せんぐう館